

## 静かに冥福を祈る

村戦没者追悼平和祈願祭が8月6日、旭日区の村英霊塔の前で行われ、不戦と平和を誓いました。

式には遺族や普代児童館の園児ら約80人が出席。村遺族会の中野ミヨ会長は「63年の歳月が流れた今も、心に受けた深い悲しみは永遠に消えることはありません。再び戦火のない平和な日本、世界であることを心から祈ります」と追悼の言葉を述べました。

引き続き、園児や参列者全員が焼香し（写真）犠牲者の冥福を祈りました。



## 3小学区で懇談会

村内の3小学区を対象に平成20年度教育懇談会が6月26・27・30の3日間、自然休養村管理センターなどで行われました。

このうち6月30日に堀内公民館で行われた懇談会（写真）では、父母や教員、地区民9人が参集。道合多喜夫教育委員長をはじめ、教育委員、教育長、教育委員会事務局職員らが出席。道合委員長は、「地区に向いての懇談会です。この機会に意見や要望などをお聞かせください」とあいさつ。集まった父母らからは、学校での子どもたちの様子やスポ少、部活動、統合問題などが出され、皆さんで共通理解を図りました。

## 北緯40度

### そぞろある記



## 盛況 やませ朝市

三陸鉄道の利用者拡大を目指す「マイレール三鉄・沿線地域30万人運動」を支援するための「やませ朝市」が7月20日、三鉄普代駅前で行われました。朝市には、地元商店や同村商工会青年部などによる出店が並び、三鉄利用客や行楽客、地域住民らは

地元産の野菜や海産物、三鉄の関連商品などに誘われ足を止めていました。（写真）

2年目の今年はオープニングでふだい荒磯太鼓も披露され、300個のもちまきも行われました。朝市は11月まで月一度のペースで開催する予定です。



## プロの語りに感動

女優の林洋子さんを迎えて行われた薩摩琵琶弾き語りが7月13日、自然休養村管理センターで行われ、普代小生や村民ら約150人が参加し、薩摩琵琶の音色と、独特の世界を味わいました。

林さんは宮沢賢治の「なめとこ山の熊」「いちようの実」という物語のひとり語りを約2時間披露。迫真の演技で子どもらを魅了しました。（写真）

子どもらは「何も見ないで話ができすぎかったです」「話の合間に鳴らす薩摩琵琶の音色がとても合っていてよかったです」などの感想を話し、宮沢賢治の世界と、林さんの絶妙な語り、琵琶の音色に感動していました。



いた、チヨウだよ！



普代小学校（日沢栄子校長、児童96人）の3年生17人が7月18日、芦渡の金子英雄さん（65）宅の裏庭で村天然記念物・チヨウセンアカシジミの成虫観察会をしました。チヨウセンアカシジミの会代表の尾形洋一さん（55）宮古市を講師に、児童らはデワノトネリコの葉に羽を休めているチヨウを観察しました。（写真）残念ながら産卵シーンは見られませんでした。が、児童らは「オレンジ色がきれい」「卵が小さい」など、珍チヨウに感動していました。

## 伝統の舞で村PR



普代中学校（後忠美校長、生徒91人）の神楽同好会（松家菜会長、会員18人）の17人が7月25、26日の両日、宮城県仙台市中で中野流鶴鳥七頭舞を披露し村をPRしました。同校の仙台公演は昨年に続き2回目。26日には、鮮やかな衣装を身にまとった同好会の17人が、藤崎と三越仙台店前の2カ所で舞を披露。太鼓や笛に合わせ「ソーレ」と声を掛けながら躍動感あふれる舞を演じました。（写真）各会場では買い物客ら約200人が足を止め、約20分間の舞に見入っていました。同好会会長の松家さんは「練習期間が少なかったのですが、お客さんに喜んでもらえてうれしかったです」と話していました。

## ふだいまつり 9月5・6・7日



おやき・ドーナツ・焼き鳥、販売します!!



## やませ朝市

普代の新鮮な海の幸や山の幸が盛りだくさん。皆さんお越しください。

下記の日、普代駅で開催!!  
9/14、10/19、11/16

中央区 三船製菓 ☎35-2020